

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス カラット国見		
○保護者評価実施期間	R7 年 2 月 3 日		～ R7 年 2 月 20日
○保護者評価有効回答数	(児童発達支援)	対象者数： 0名	
	(放課後等デイサービス)	対象者数： 28名	回答者数： 28名
○従業者評価実施期間	R7 年 2 月 3 日		～ R7 年 2 月 20日
○従業者評価有効回答数	(児童発達支援)	対象者数： 6名	回答者数： 6名
	(放課後等デイサービス)		
○事業者向け自己評価表作成日	R7 年 2 月 26 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・活動スペース	・2部屋(合わせて90㎡以上)を壁とスクリーンで仕切って使用可能なため、用途(運動・制作・学習など)に応じて広さを変えて活動ができている。 ・全面フラットで運動しやすいスペースといっている。	
2	・プログラム内容の充実	・5領域を踏まえた活動内容を飽きないように楽しく興味をもって取り組めるように工夫している。 ・3か月毎に運動種目を変えたメニュー立案し、レッスン毎にその日の目標を決め、それに合わせた内容を行っている。 ・子ども達の達成度や行った内容の評価を踏まえながら、新しい案を出している。	・小学生から高校生まで年齢幅、発達段階の差が大きいため、高学年の活動内容について更に充実するように工夫していく。
3	・幅広い年齢層の他児との関り	・異年齢のお友達と一緒に活動することで、コミュニケーションスキルの習得や、日常生活に必要なスキルを真似しながら習得したり、年下のお友達のお世話をしたり、関わり方を学んだりできる環境になっている。	・事業所内だけではなく、他事業所などのお友達とも関わることの出来る活動内容を立案していく。
4	・色々なイベント活動(外出行事・季節行事など)	・土曜日や長期休みの活動は、お出かけをしたり、季節の行事を行ったりなどのイベント活動となっており、色々なことを体験・体感できる内容となっている。	・今後も、子ども達が楽しく積極的に参加してくれる内容を立案していく。
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者様同士の関り	・保護者会などを開催していないため、保護者様同士が顔を合わせる機会がない。	・ご家族が参加できるイベントや、保護者交流会などを開催し、保護者様同士の相談・情報提供の場を作っていく。
2	・保護者様への「ペアレントトレーニング」や研修などの場の提供	・保護者様からの個別相談に対する助言やアドバイスは行っているが、保護者様を対象とした研修や情報提供の取り組みができていない。	・今後、必要に応じて研修などを立案し提供できれば良いと考えている。
3	・地域との関り	・イベント活動で地域の店舗利用(お買い物体験)で地域との交流は図れているが、地域イベントやの参加や地域の子ども達(児童館など)と交流する機会が提供できていない。	・地域のお祭りや催し物がある際は、活動の日時と合う場合は参加を検討する。 ・児童館などと連携をとりながら、交流できる場を作っていく。 ・地域のボランティア団体などが希望する際は、受入を行っていく。